

全建総連 支援対策本部ニュース(No.6)

全建総連 東日本大震災支援対策本部

各組合からの報告

兵庫県連・阪神土建

足立司委員長より以下のような報告が寄せられました。

地震前にすでに品薄感が出ていましたが、この度の東日本大震災の影響で合板・建材メーカーの工場が被害を受けさらに深刻な事態になっています。

本日、取引先より被害状況をまとめた資料が届きましたので、何かの参考になるのではと思い、送らせていただきます。

阪神大震災を経験した私たちでさえ、想像もしなかつた津波の被害の大きさにただただ驚くばかりです。対策本部等の対応で大変でしょうが、今後ともよろしくお願いたします。(添付資料PDFをご参照ください)

林野庁 林業・木材関係団体へ復興資材確保で要請

林野庁は15日、林業・木材関係団体(全国木材組合連合会、日本合板工業組合連合会、日本合板商業組合、全日本木材市場連盟、全国素材生産業協同組合連合会、日本木材総合情報センター、日本木材輸入協会等)を集め、復興用資材の適切な供給確保、全国的な木材需給の安定などを要請しました。団体側からは「買い占め、売り惜しみ、価格つり上げ防止を会員に指示する」「生産・輸送に必要な燃料の調達への配慮が必要だ」などの意見が出されました。

静岡県東部で発生した地震について

昨夜、最大震度6強の地震が静岡県を中心におこりました。

本朝一番で古市書記長が東海地協選出の伏見副委員長(静岡市清水区在住)の御自宅に電話を入れたところ、奥様がでて「30秒くらい揺れたけど大丈夫だった」とのこと。その後、伏見副委員長御本人から全建総連本部に電話が入り、「今のところ被害については確認していない。一番揺れた富士宮市にはあまり組合員はいないが、隣の富士市と三島市に支部があるので、今調査をしている」とのことでした。

その後、静岡建労本部より全建総連本部に連絡が入り、「各支部に調査依頼したが、人的被害はなかった」とのことでした。

さらにその後、追加の連絡が入り「組合員宅で一部損壊が5件あった。富士支部には富士市から損壊した住宅の相談受付の依頼があり受けることにした」とのことです。

仙台市建設職組合が業務を再開

宮城県連内の最大組織、仙台市建設職組合が業務を開始しました。本日午後、緊急役員会議を開きます。宮城県建設業国保組合もすでに業務を開始しています。しかし、宮城県連はまだ事務所機能が回復していません。18日に県連・国保合同会議が開催される予定で、そこには全建総連が派遣する役員等も参加します。

全建総連福島で震災対策会議

16日午後、福島県入りしている浅賀部長と、森主任書記より連絡が入りました。

「16日11時から県連会館で震災対策会議が開催された。遠藤委員長、高萩副委員長、高橋会計はガソリンを確保できず参加できなかったものの、宮地副委員長、鈴木副委員長、清水書記長、書記局員が参加。冒頭、全建総連本部からお見舞いと激励、少量ですが毛布や水、食料品をお渡しした。会議は、被災状況の把握方法や今後の対応について協議した。県連傘下の各組合の状況は、津波の被害が大きく原発事故の影響を受けている4組合（相馬、原町、富岡、双葉）とガソリン不足が深刻な、いわき、富久山、東白川の3組合、及びヒビが入った須賀川が事務所を閉鎖している。現在、県連では物的・人的被害状況の調査を各組合に依頼中（第1次集約を3/22、第2次集約を3/31）で、移動手段や暖房に不可欠なガソリンや灯油が入手できず、大きな課題となっている。

16～17日にかけて、被害を受けた各組合を可能な限り回って現地の状況を把握していきたい」

群馬県連からの報告

群馬県連からの報告によると、東日本大震災発生の際、群馬県でも最大震度6弱を記録したとのこと。また、12日には、群馬県北部を震源とした地震が発生（最大震度4）。被害状況は死者1名、負傷者37名、住宅の全壊、半壊はないが、一部破損は9,586棟に及んでいるとのこと。

千葉土建・千葉支部より報告

過去最大の巨大地震は、千葉市にも深刻な被害をもたらしています。13日午後、千葉土建対策本部は千葉支部とも協力し、田村智子参議院議員と小松実県会議員とともに、美浜区の液状化の被害調査に入りました。磯辺地域の液状化は、想像を超える規模でした。噴出した泥土に埋まった駐車場を住民の方々が片づけています。外には、1メートルを超す泥土の山。

隣接の下水道処理場の広場を駐車場として開放してもらえないか。住民の皆さんから、早速要望が出ます。その場から、県庁に連絡。下水道事務所にも出向いて欲しいすると、「今、本庁から連絡をいただいたところです」と、早速、職員が門扉を開放。緊急の駐車場が確保されました。水が出ないため、トイレも使えないということで、市に仮設のトイレを設置してもらうことにしました。

液状化で自宅が傾いてしまった住民のお宅を訪問。上がらせてもらおうと、フローリングの床が傾いているのが、足裏に伝わってきました。ピンポンのボールを置くと、コロコロと転がって行きました。

千葉土建も、早速、重機を手配して「土砂の撤去」部隊を組織し、本日も朝から行動しています。

千葉県にも宮本部長を派遣

今回の東日本大震災では千葉県も被災しています。支援対策本部では16日、宮本部長を千葉県に派遣しました。宮本部長は午前9時に千葉土建本部に到着、被災したみなさんへのお見舞いと、復興支援に取り組んでいる仲間を激励しました。その後、千葉県連にも訪問し、同様なお見舞いと激励をしました。

午後からは、被災地の佐原市と銚子市を訪れるとの連絡が入っています。

福岡建労の報告

福岡建労は3月22日に「建設職人仕事とルールを求める総決起集会」を開催する予定でしたが、「被災された皆様のことを考慮し」決起集会を見合わせることを決定しました。また、今後の復興支援については、4月の執行委員会で提起するとのことです。